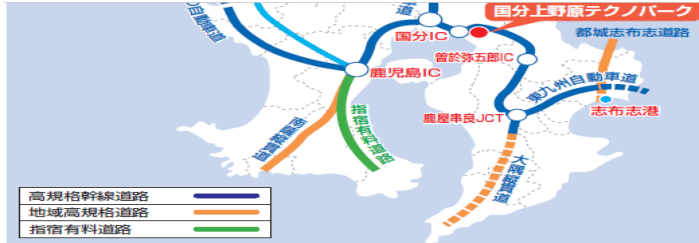




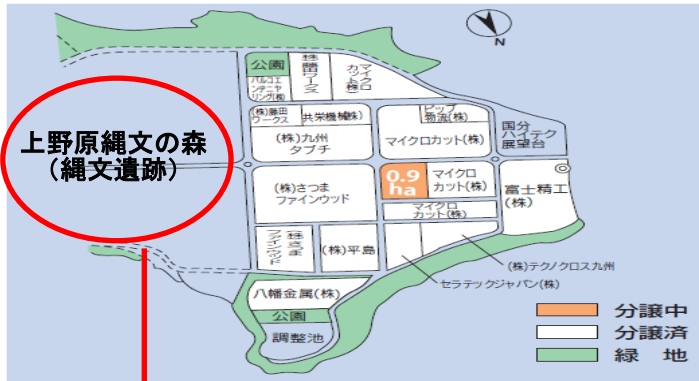
# 工場からの 可燃ごみ 排出量の低減

富士精工株式会社 鹿児島工場 富田哲史

## 上野原テクノパーク工業団地



### 配置図



テクノパーク工業団地の敷地の半分は縄文遺跡になっています。現在でも地域周辺で土器類が出土し、縄文の森で働く方々によって日々復元作業が行われています。



## 上野原テクノパーク



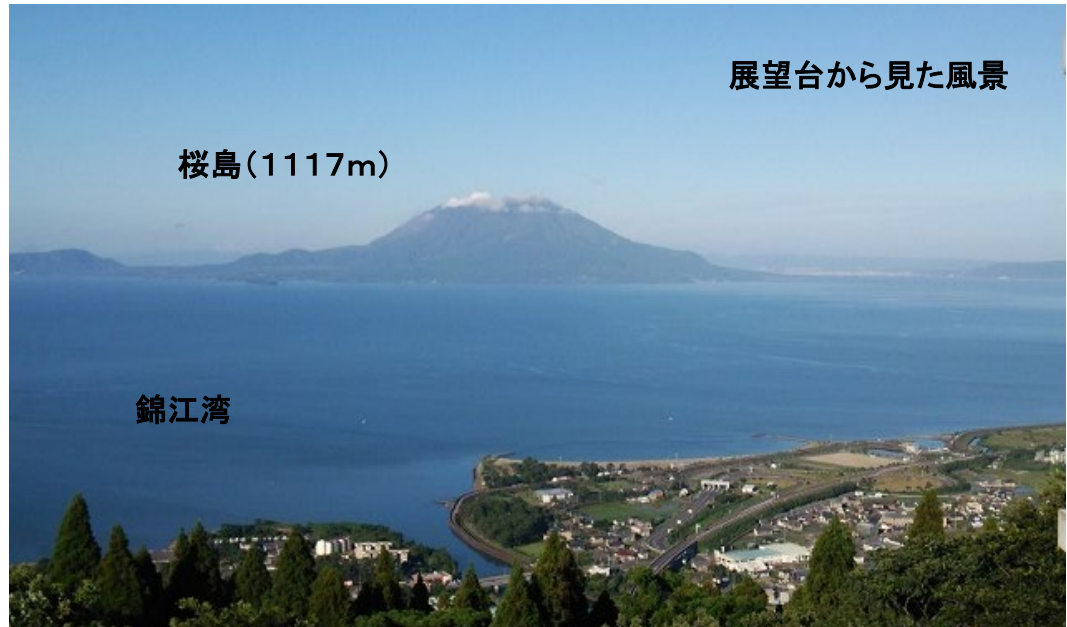
富士精工(株)鹿児島工場  
(標高 250m)

国分上野原テクノパークは、鹿児島県のほぼ中央部に位置し、北部は国立公園である風光明媚な霧島連山を有し、南部は豊かで広大な平野部や雄大な桜島を望む、自然に恵まれた工業団地です。

## 展望台から見た風景

桜島(1117m)

錦江湾



# 会社概要（鹿児島工場概観）

C-max



敷地面積(27,492㎡)

建築面積(3,734㎡)

工場棟 60m×45m

従業員数 40名（男性 38名 女性 2名）



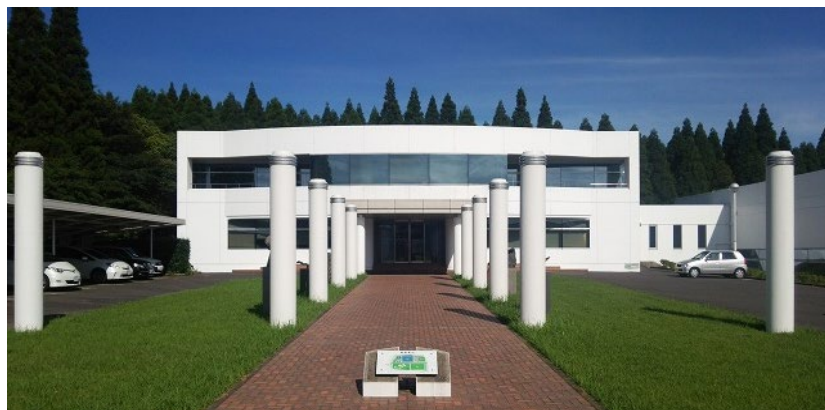
# 鹿児島工場の紹介

C-max

鹿児島工場は 刃の無い物を中心とした 標準・準標準品ホルダを少人数で生産できるラインとして 当初10名程で 1992年8月に操業を開始いたしました。  
ここ数年は刃の有る特殊ホルダも一部生産を行っています。



工場棟 外観



正面から見た事務棟



富士精工は、地球環境・地域環境の保全に積極的に取り組み、持続的な発展が可能な社会づくりに貢献します。

## 背景

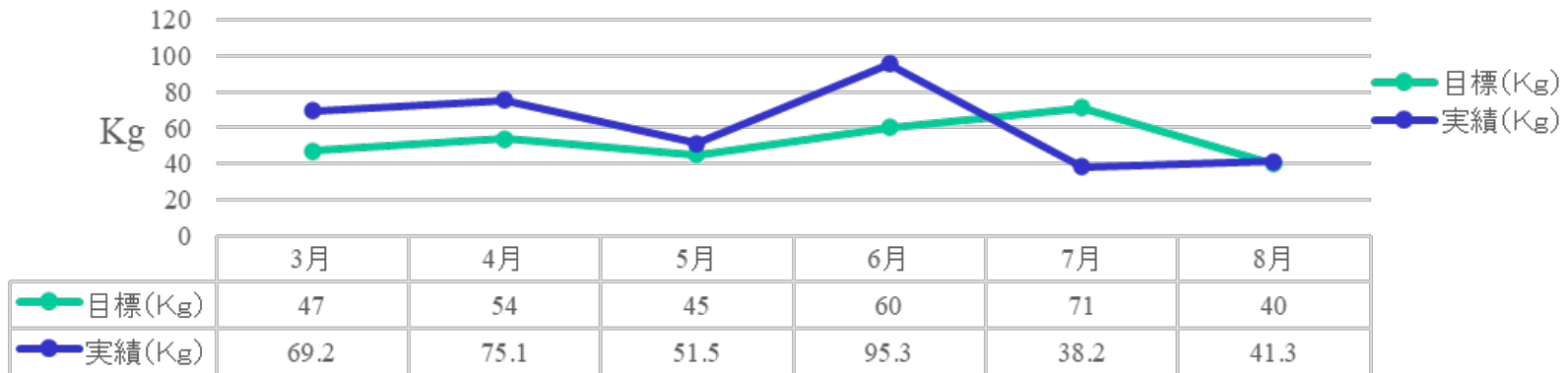
鹿児島工場環境マネジメントプログラムでの取り込みの一つで  
**可燃ごみの排出量の低減**  
に取り組んでおりました。

## 問題点

- ・ しかしながら3月～8月までの間  
6回中 **5回 目標未達** だった

目標値については  
生産高原単位で設定

3月～8月までの可燃ごみ排出量

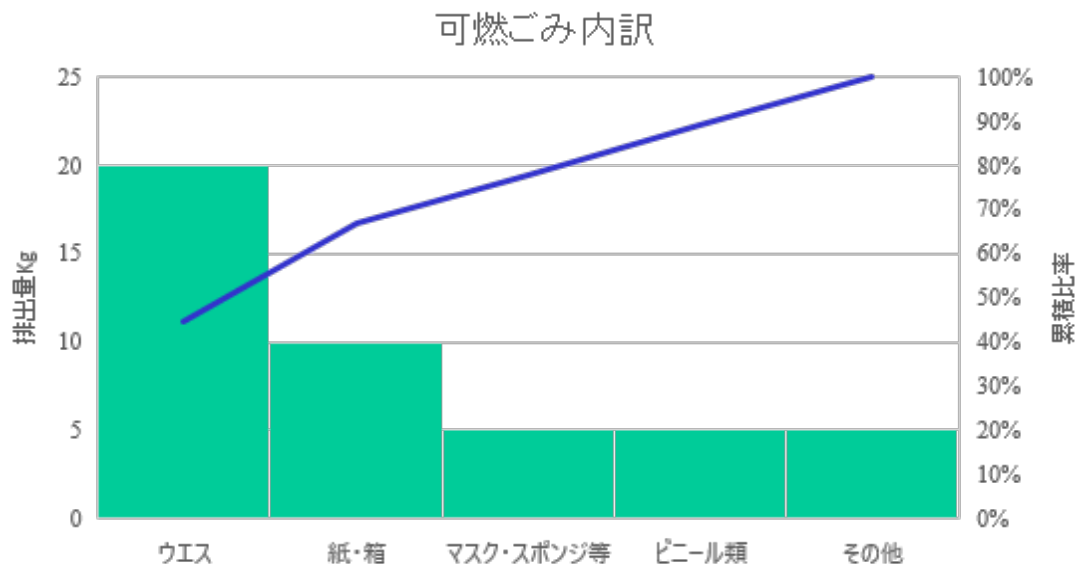


## 対策

- この事を緊急事態と捉え、対策を実施

廃棄物の内容を確認し、何が多いかを調査した。

下記グラフは 3月～8月までの 可燃ごみの内容です。  
6か月間の平均 45Kg排出



\*これらはお汚れがひどく、再利用できないものです

ゴミの写真(参考)



ウェスが42%  
占めているの  
がわかった

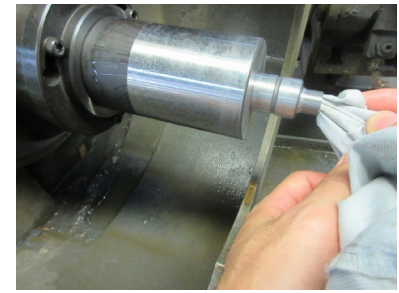
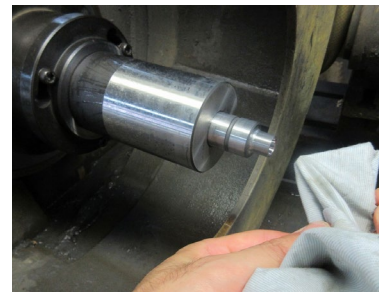
## 9月より廃棄物の内容を調査した結果 下記対策を実施

- リサイクルウエスの増量

リサイクルウエスの写真



研磨の作業性評価の写真



- 紙類のシュレッダー緩衝材推進／機密文書の公共施設持ち込み



# ■ 月当たりの排出許容量の 課員への周知

実施項目	実施内容	期限	9月	10月	11月	12月	1月	2月
毎月の排出量目標値設定	ある係数を乗じて排出量管理 目標271キロ以内【(642k-370.6k)/6ヶ月】	22/2	40Kg以下	43Kg以下	31Kg以下	24Kg以下	37Kg以下	38Kg以下

\*途中で目標を変更したが、当初の目標値に収めるため低く設定



# 対策実施の結果

9月～2月までの可燃ごみ排出量

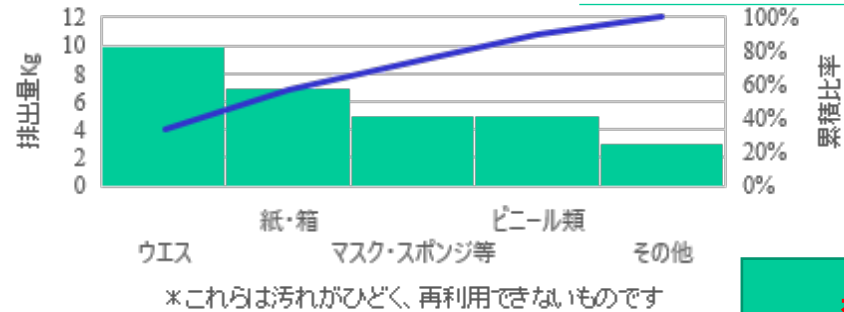
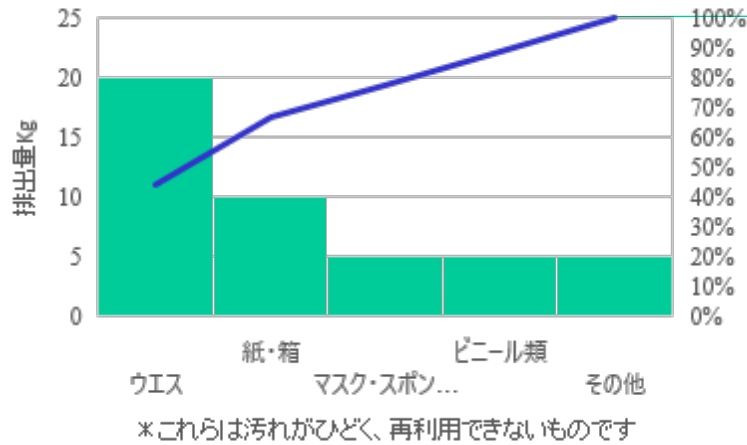


	9月	10月	11月	12月	1月	2月
● 目標(Kg)	50	55	41	32	50	55
● 実績(Kg)	39.5	28.3	16.5	20.5	30.8	38.6

月平均29Kgとなった

効果

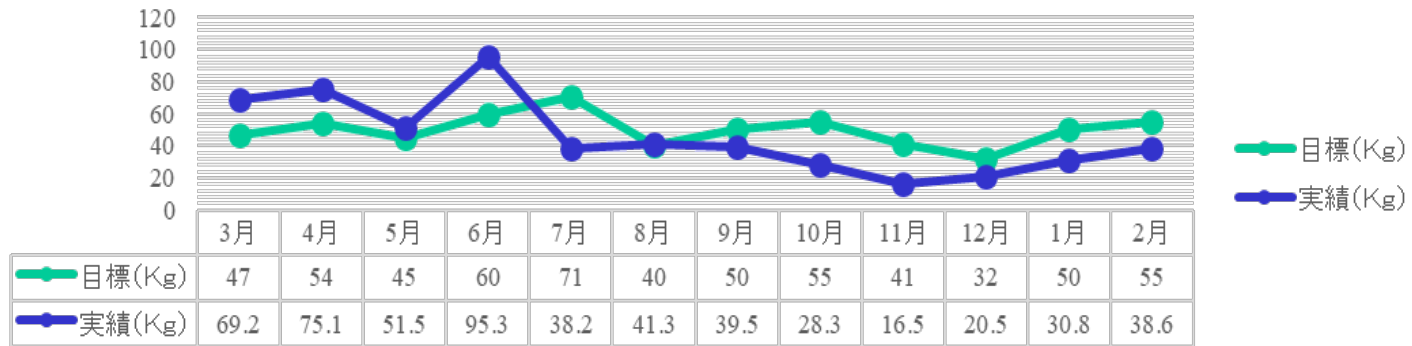
## 効果の確認



効果  
35.6%  
低減

効果

## 年間可燃ごみ排出量推移グラフ



課員の協力により目標を達成できた



ご清聴ありがとうございました。